

H24年度島根県「水と緑の森づくり」アンケート調査について

【趣旨】

水と緑の森づくり税や水と緑の森づくり事業をはじめとする島根県の森づくりに対する思いや、期待等を把握するためにアンケート調査を実施する。

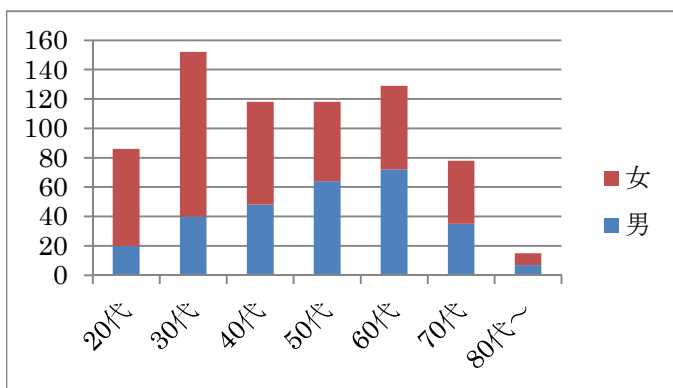
【実施方法】

- (1) 調査項目
 - ① 水と緑の森づくりについて
 - ② その他
 - (2) 調査対象
 - ① 母集団 島根県内の市町村に居住する満20歳以上の男女
 - ② 標本数 2,000人
 - ③ 抽出法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出法
 - (3) 調査方法
 - ① 郵送によるアンケート送付及び回答
 - ② 調査期間：平成24年10月1日～10月17日
 - (4) 実施
 - ① 事業主体：島根県林業課
 - ② 調査、検証：島根大学生物資源科学部
- } 共同（H24年4月～H25年3月）

【調査結果—速報版—】

- 有効回答数713 回答率35.6%（H23年度32.0%）
- 男性287、女性414

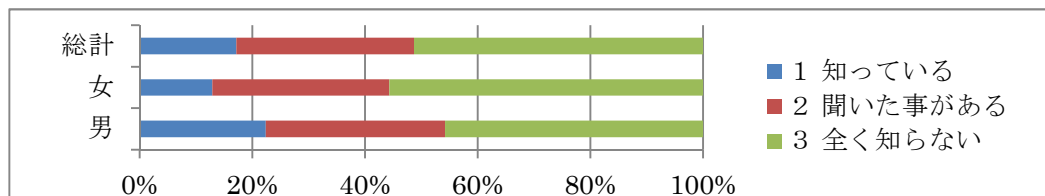
	男	女
20代	20	66
30代	40	112
40代	48	70
50代	64	54
60代	72	57
70代	35	43
80代～	7	8



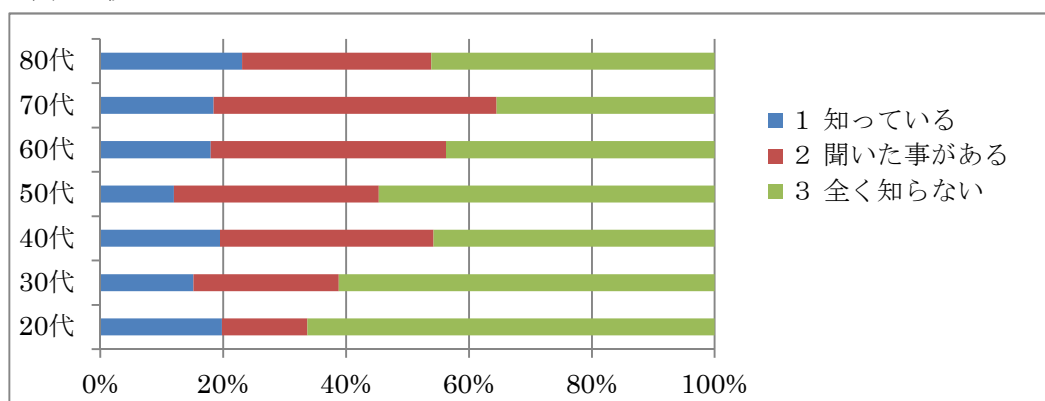
1. 水と緑の森づくり事業（税）の認知度について

1) 男女比較

男性よりも女性の認知度が低く、若い世代の認知度が低い。



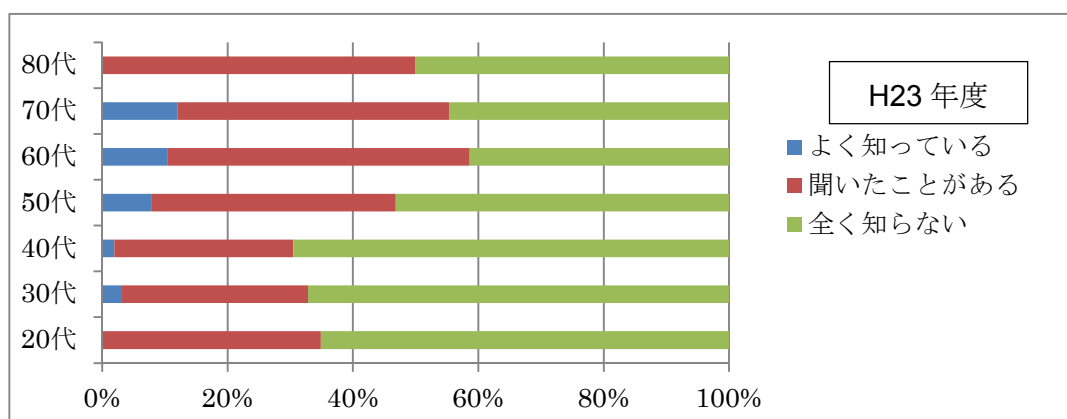
2) 年代比較



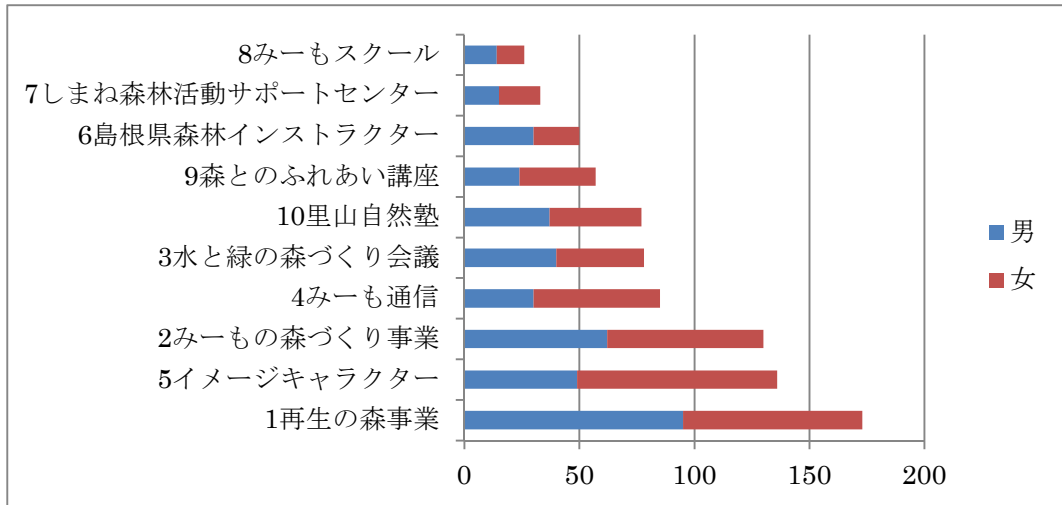
3) 前年との比較

前年に比べ女性の認知度（知っている＋聞いたことがある）は向上している。

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	前年比
総計	42%	41%	46%	50%	4% UP
女	33%	-	37%	47%	10% UP
男	55%	-	54%	55%	1% UP

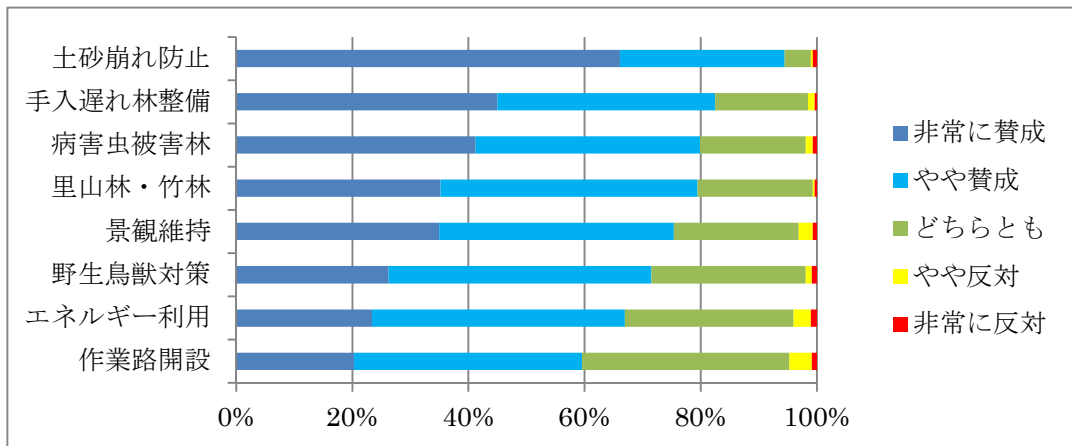


2. 事業別認知度について



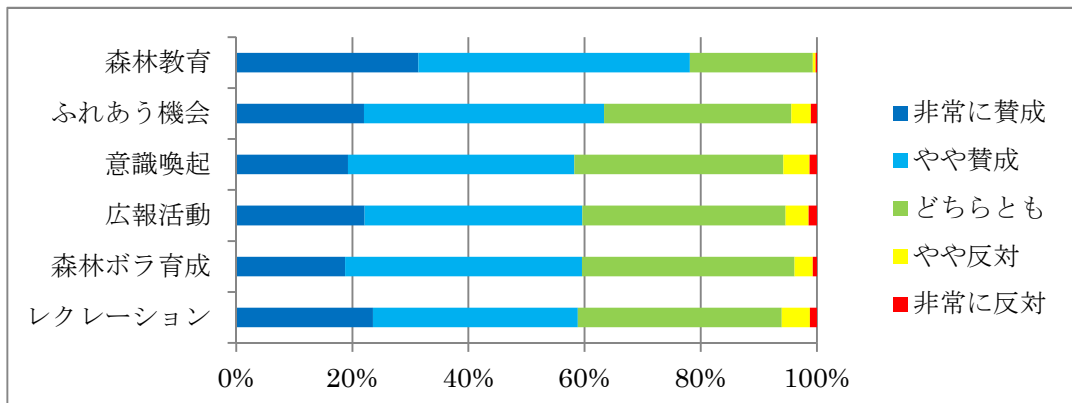
3. 水森税の使途について（ハード事業）

荒廃森林に対する整備については多くの県民が支持。一方、エネルギー利用や作業路開設、高性能林業機械導入経費など林業経営分野には関心が低い



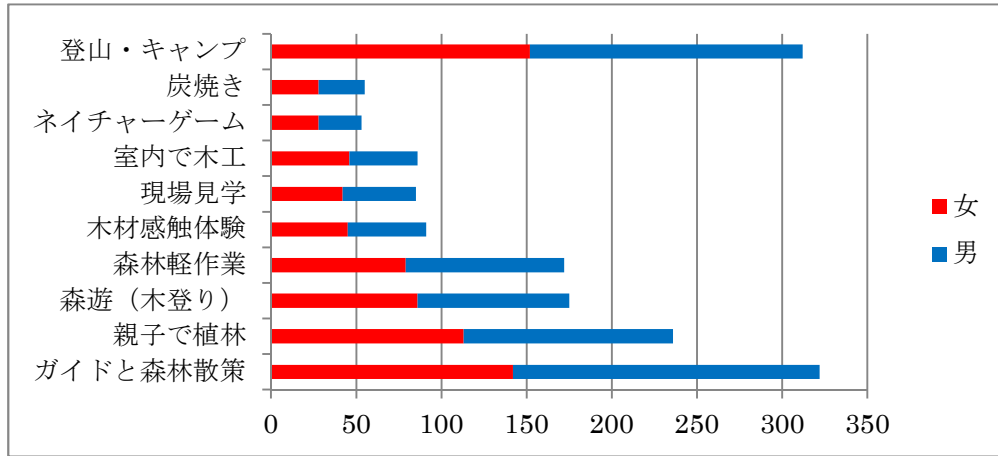
4. 水森税の使途について（ソフト事業）

「子ども達に対する森林教育」が過去のアンケート結果においても最も要望が多く、使途として反対も少ない。(非常に賛成+やや賛成=78%) (やや反対+非常に反対=1%)



5. 森林教育について

室内での学習よりも、屋外での森林体験に対する要望が多い。また、子どもだけでなく子育て世代である20~40代に対しても森林学習体験の機会を要望する意見多数。



6. 森林への興味関心について

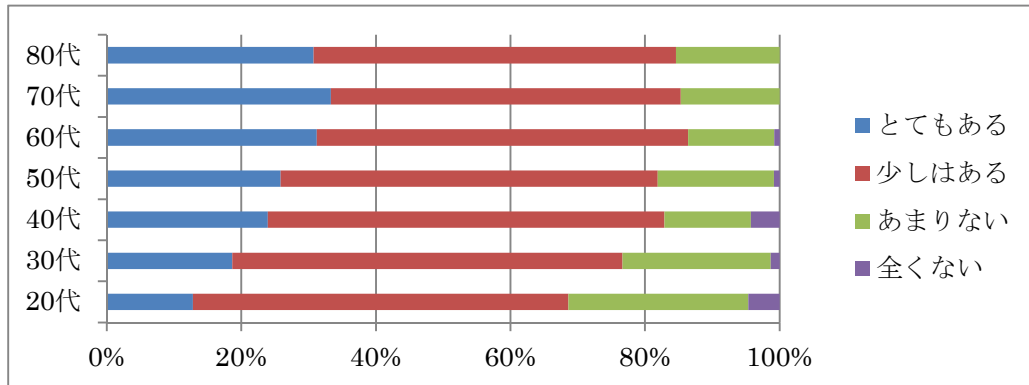
1) 若い世代ほど「関心有り」の割合が減る

○60代~70代 関心とてもある → 33%

○20代~30代 関心とてもある → 16%

水森事業認知度高い = 高齢者 = 森林に関心高い

水森事業認知度低い = 若年者 = 森林に関心低い

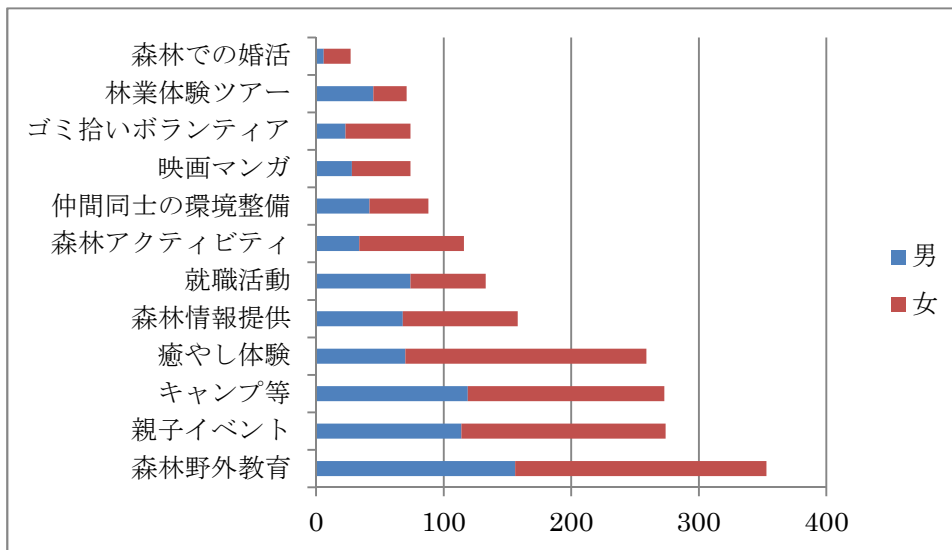


2) 前年との比較

県民の興味関心は常に高い状態を保っている。

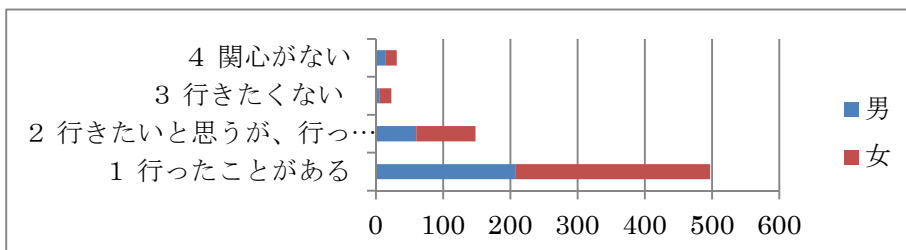
	H22 年度	H23 年度	H24 年度
総計	80%	78%	79%
女	-	75%	77%
男	-	80%	82%

7. 次世代を担う若い世代に森林に関心を持ってもらうには

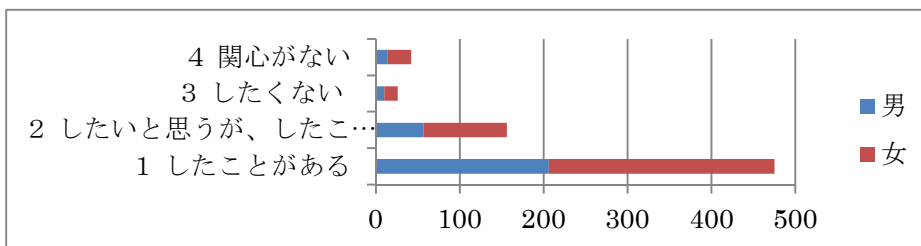


8. あなたの森林に対する関わりについて

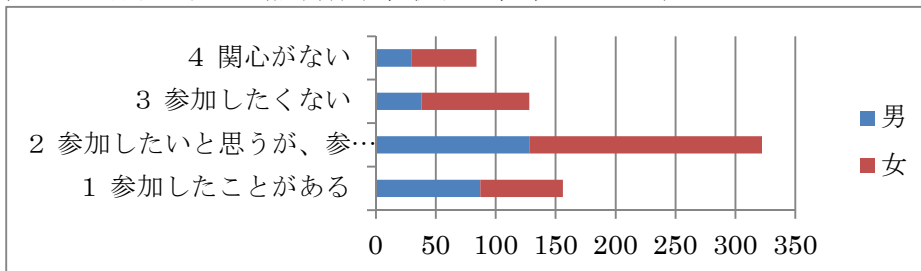
1) レクリエーションに行く (登山、キャンプ、森林浴など)



2) 自然のものを採取に行く (山菜狩り、キノコ狩り、笹採りなど)

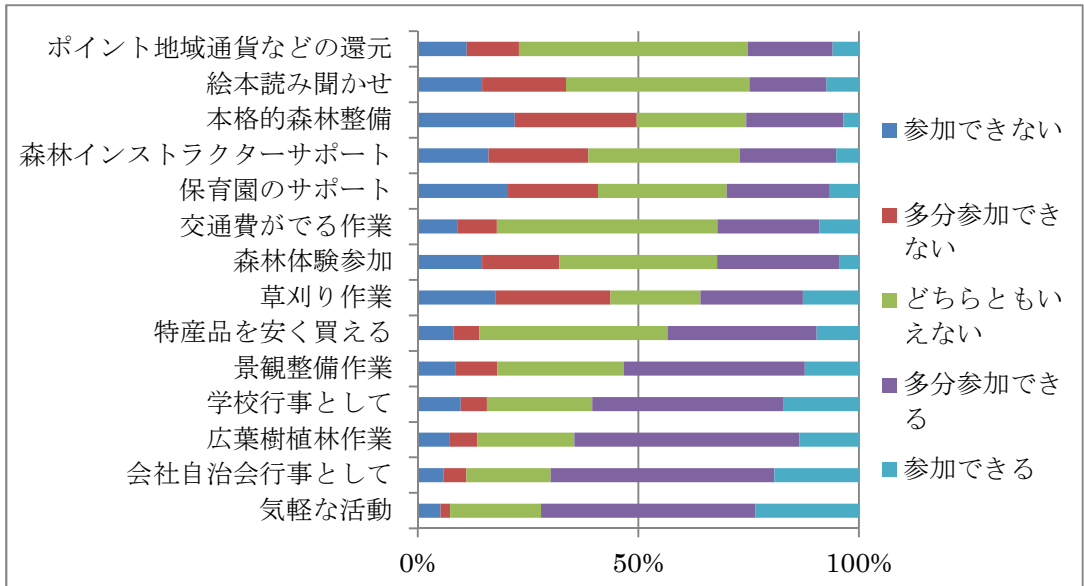


3) 森づくり活動に行く (植樹体験、枝打ち、草刈りなど)

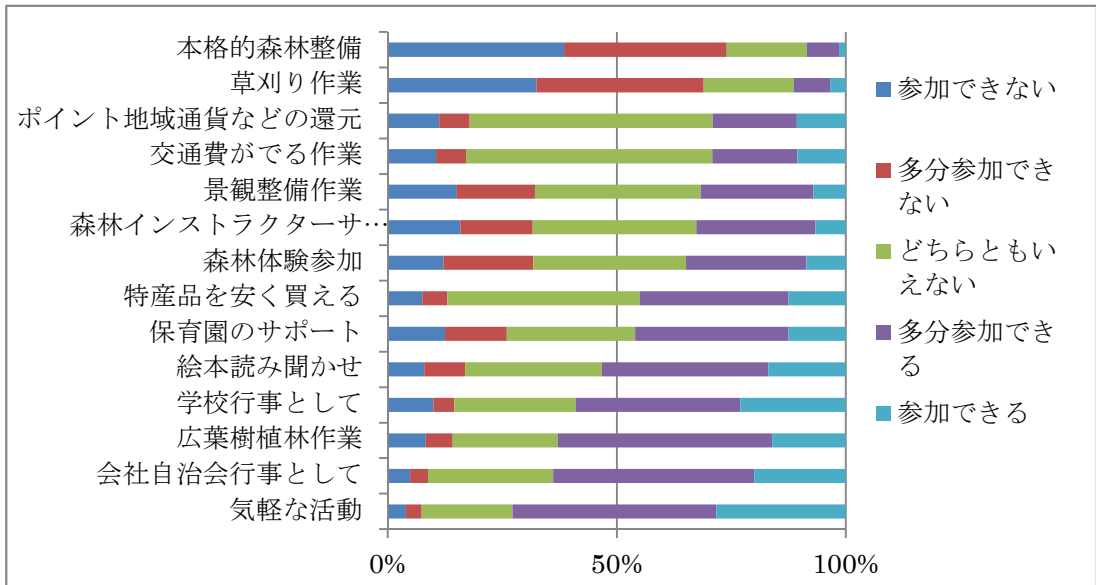


9. どんな森づくり活動であれば参加できますか。

1) 男性



2) 女性



10. 水と緑の森づくり事業に対する賛否について

賛成+どちらかという賛成=94%

